

「カード加盟飲食店で一年間に利用した金額の10%を、現金で利用客に返却する」という新クレジットカードをクレディセゾンと共同で企画、発行した、クレジットカード関連のサービス企画会社、パスタカード（大阪市、応谷隆信社長）の植出良一副



社長は「このカードも似たような特典を付けているなかで、画期的な特典」と胸を張る。

「PASTAカードセゾン」は、加盟飲食店での年間利用金額の10%を会員の決済口座に振り込む仕組み。昨年末から試験的に発行、現在会員二万人だが、三月には加盟店



パスタカード
副社長
植出 良一氏

年間飲食料金の10%を返却
新たな特典カードを共同企画

独自色で顧客つかむ

知恵を絞った結果、今回のアイデアが生まれたという。従来の優待サービスでは、加盟店で客が利用することにカードを提示、その場で料金の割引をするのが一般的。しかし「客からみれば、わざわざ値引きを求めるようで気後れするという人が多く、利用しにくい面があった」と話んだ。

今後は石油、旅行、保険会社など大手企業との提携カードを拡充、会員を拡大していく予定。「提携カードの場合、現金を返すのではなく、例えば石油会社ならガソリン券を割引額相当配布すれば、販促に役立つメリットもある」と強調する。提携するクレジット会社もクレディセゾン以外に増やし、「二、三年後には会員数十万人を目指す」と意気込んでいる。

を五百店舗そろえ、一般向けに募集を開始する。

「消費者がカードの選別を強めるなかで、特徴を打ち出せる特典はないだろうか」と